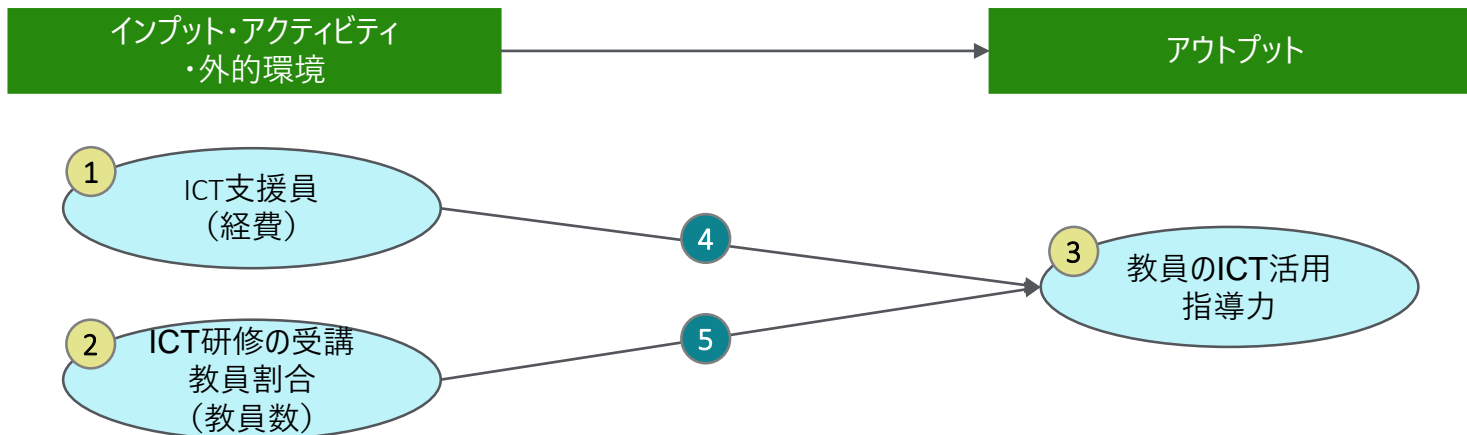


# 対象検証仮説と利用可能な単位データ（学校分類）に基づき、現状のICT能力支援活用状況と教員のICT活用指導力との関係性を記述統計的に把握した

## 現時点の分析内容

- 現状把握** ICT支援員の活用状況とICT研修の受講状況、教員のICT活用指導力について、現状把握を行う ① ② ③
- 関係性分析** 仮説No.2、4に基づいて、ICT支援員およびICT研修と、教員のICT活用指導力との関係性を分析する ④ ⑤



ICT支援員	①	支援員の配置状況（市区町村別の支出額）
	④	ICT支援員×教員のICT活用指導力
ICT研修	②	研修受講割合（教員数割合）
	⑤	ICT研修の受講教員割合×教員のICT活用指導力
教員のICT活用指導力	③	教員のICT活用指導力のと道府県別水準、市区町村規模別水準

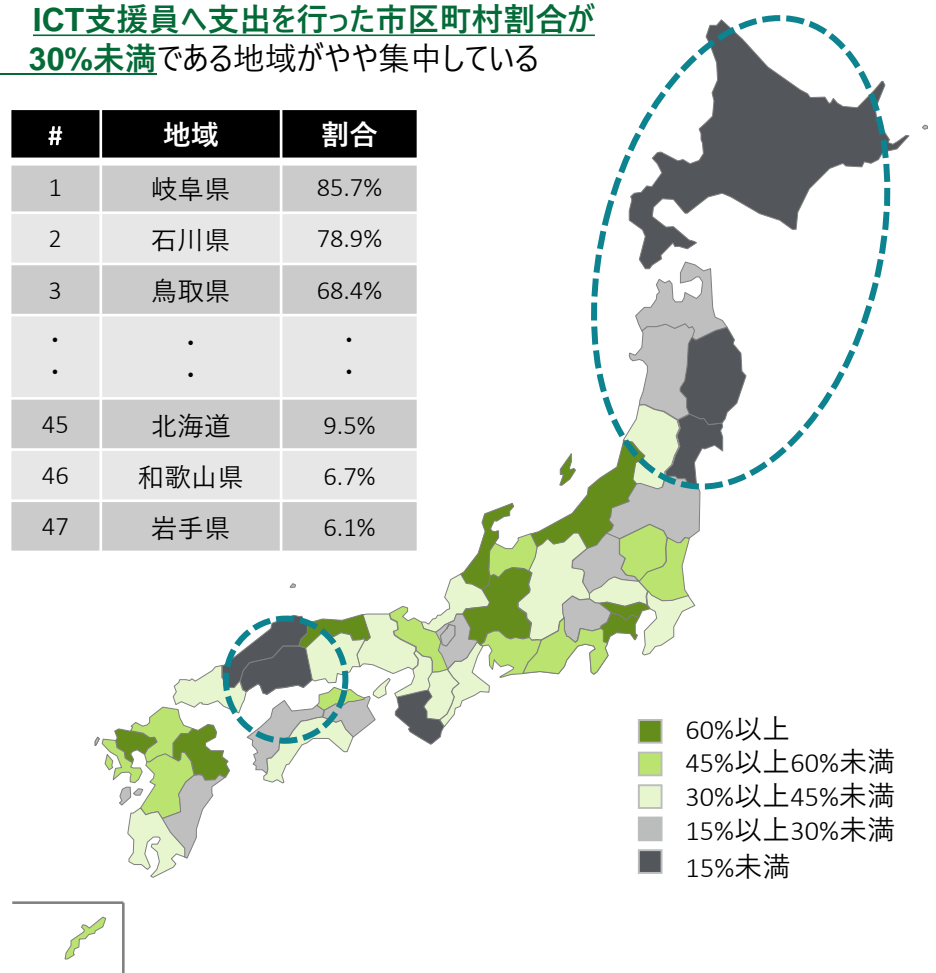
# 小学校・中学校ともに、都道府県間でICT支援員へ支出を行った市区町村割合の差が大きい。また、割合が低い地域は北海道・東北地方や中国・四国地方にやや集中している

## ICT支援員へ支出を行った市区町村割合（令和元年度）

小学校

- 北海道・東北地方や、中国・四国地方にICT支援員へ支出を行った市区町村割合が30%未満である地域がやや集中している

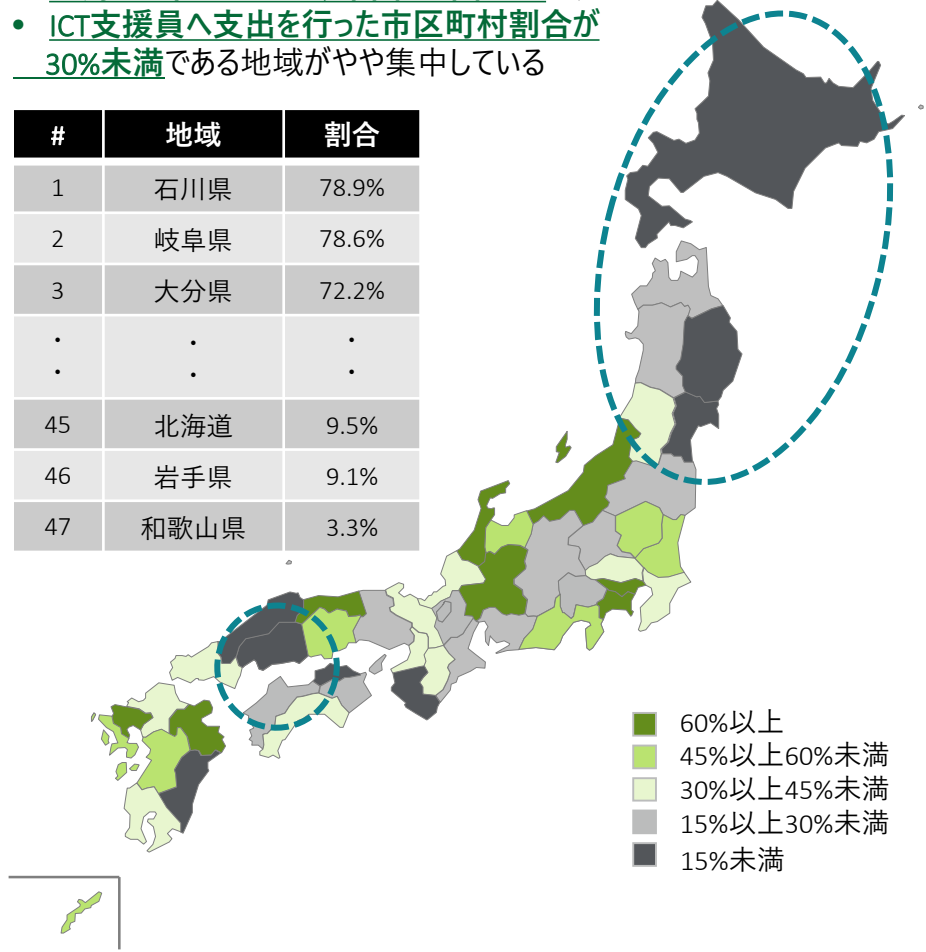
#	地域	割合
1	岐阜県	85.7%
2	石川県	78.9%
3	鳥取県	68.4%
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
45	北海道	9.5%
46	和歌山県	6.7%
47	岩手県	6.1%



中学校

- 北海道・東北地方や、中国・四国地方に、ICT支援員へ支出を行った市区町村割合が30%未満である地域がやや集中している

#	地域	割合
1	石川県	78.9%
2	岐阜県	78.6%
3	大分県	72.2%
⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮
45	北海道	9.5%
46	岩手県	9.1%
47	和歌山県	3.3%



・ICT研修への教員受講割合が8割を超える市区町村が4割程度。一方、全くICT研修を受講していない、もしくは教員の2割程度しか受講していない市区町村が3割弱。

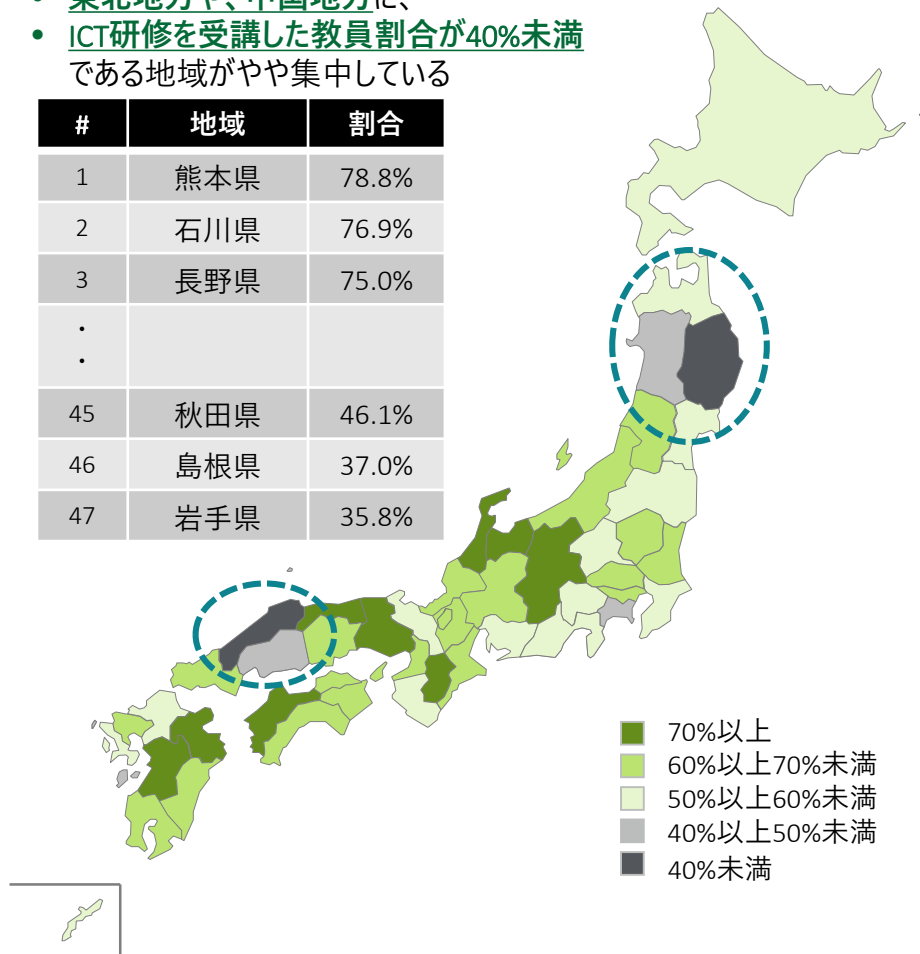
ICT研修の受講割合が少ない地域は、東北地方や中国地方の一部地域に集中。

令和2年度におけるICT研修を受講した教員割合

小学校

- ・東北地方や、中国地方に、
- ・ICT研修を受講した教員割合が40%未満である地域がやや集中している

#	地域	割合
1	熊本県	78.8%
2	石川県	76.9%
3	長野県	75.0%
・		
45	秋田県	46.1%
46	島根県	37.0%
47	岩手県	35.8%

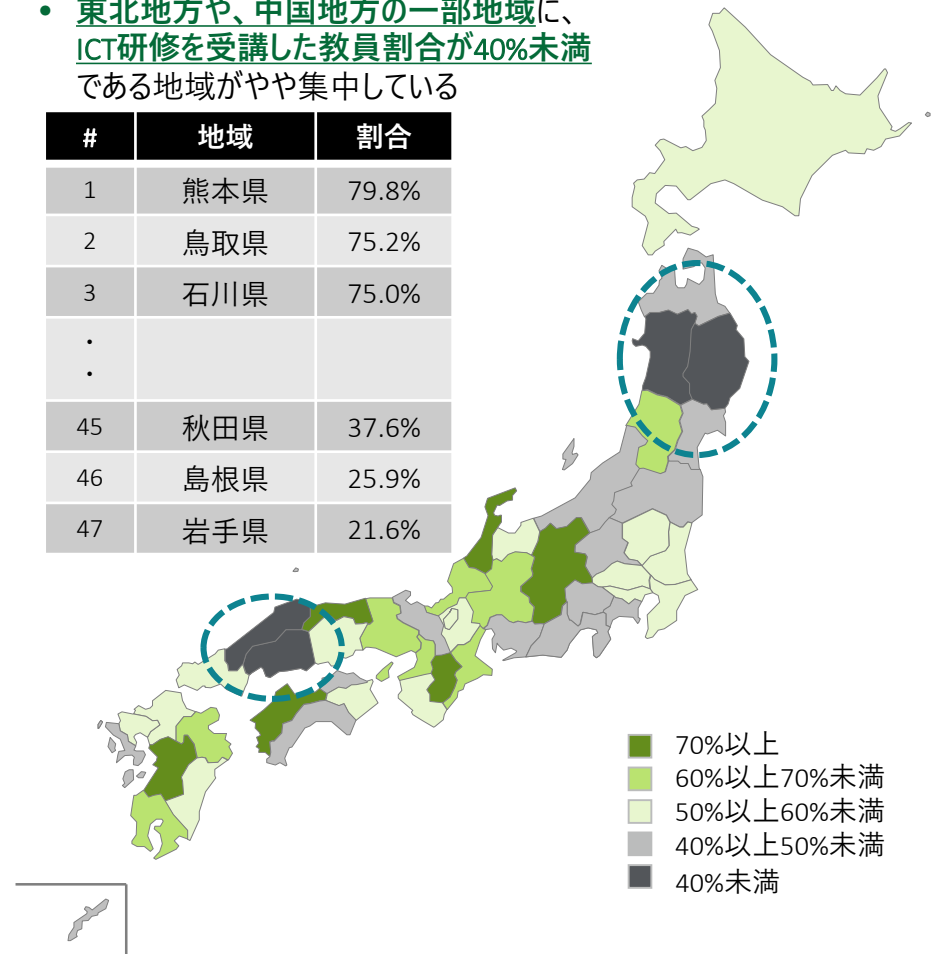


■ 70%以上  
■ 60%以上70%未満  
■ 50%以上60%未満  
■ 40%以上50%未満  
■ 40%未満

中学校

- ・東北地方や、中国地方の一部地域に、
- ・ICT研修を受講した教員割合が40%未満である地域がやや集中している

#	地域	割合
1	熊本県	79.8%
2	鳥取県	75.2%
3	石川県	75.0%
・		
45	秋田県	37.6%
46	島根県	25.9%
47	岩手県	21.6%



■ 70%以上  
■ 60%以上70%未満  
■ 50%以上60%未満  
■ 40%以上50%未満  
■ 40%未満

\*当該自治体における、ICT研修を受講した教員数を全教員数（授業担当外教員を含む）で除した値

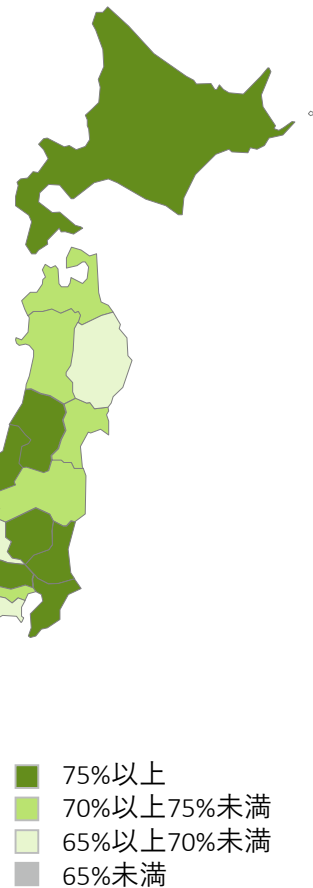
# 中学校と比べて小学校における地域間の差が小さい。小・中ともに、高い地域、低い地域が同一地方で混在しており、地域の個別要因が指導力に影響している可能性を示唆

## 教員のICT活用指導力C（児童生徒のICT活用を指導する能力）の都道府県分布

### 小学校

- 半数以上の都道府県で、「できる」「ややできる」の割合が平均75%以上。

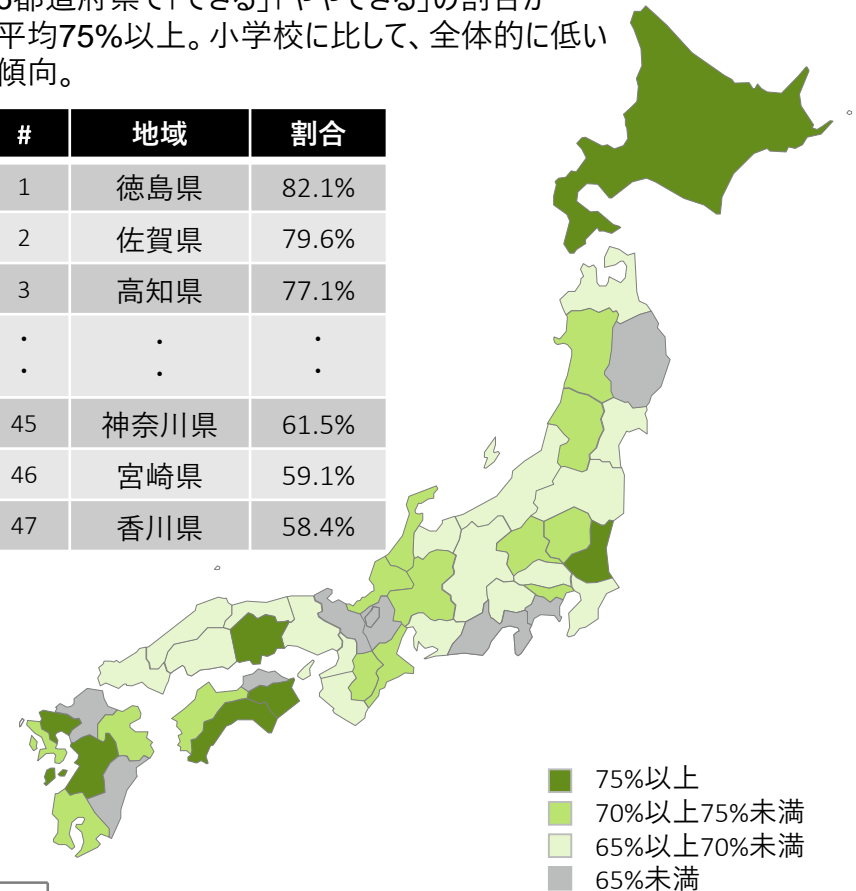
#	地域	割合
1	徳島県	86.3%
2	佐賀県	85.8%
3	富山県	83.0%
⋮	⋮	⋮
45	島根県	66.7%
46	福岡県	64.9%
47	宮崎県	64.8%



### 中学校

- 6都道府県で「できる」「ややできる」の割合が平均75%以上。小学校に比して、全体的に低い傾向。

#	地域	割合
1	徳島県	82.1%
2	佐賀県	79.6%
3	高知県	77.1%
⋮	⋮	⋮
45	神奈川県	61.5%
46	宮崎県	59.1%
47	香川県	58.4%



※計算方法：各都道府県における教員のうち、C-1からC-4の能力について、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合を平均した数値

# 令和元年度から令和2年度にかけて、一部の指導能力について、支援員経費を出資している都道府県の方が肯定的な回答（「できる」「ややできる」）の割合が増加

## 分析結果サマリと考察

### 小学校

- 「大項目B：授業にICTを活用する能力」や「大項目C：児童生徒のICT活用を指導する能力」を中心に、令和元年度から令和2年度にかけて、否定的な回答（「あまりできない」「ほとんどできない」）から、肯定的な回答（「できる」「ややできる」）へ回答割合が推移する傾向

R1→R2の変化（R1とR2の回答割合を比較している対象は同一の学校）

能力	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	D-4
小学校	浅緑	浅緑	灰色	浅緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑	深緑

### 中学校

- 「大項目C：児童生徒のICT活用を指導する能力」（特にC-1,C-2）を中心に、令和元年度から令和2年度にかけて、否定的な回答（「あまりできない」「ほとんどできない」）から、肯定的な回答（「できる」「ややできる」）へ回答割合が推移する傾向

R1→R2の変化（R1とR2の回答割合を比較している対象は同一の学校）

能力	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	D-4
中学校	深緑	灰色	浅緑	灰色	深緑	浅緑	浅緑	浅緑	深緑	深緑	深緑	深緑	浅緑	深緑	深緑	深緑

- 多くの市区町村では、端末導入から間もない。導入に伴い、ICT機器の操作や授業への活用に対する支援へのニーズが高まり、今後、ICT支援員の活用の差が縮小される可能性があると考えられる。一方で、「ICT支援員の配置促進に関する調査研究\*」では、予算の確保や求める人材の確保が多くの自治体において課題として認識されており、ボトルネックとなっている可能性が高い。

#### 【凡例】

- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、2階級以上で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が3%以上増加
- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、2階級以上で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が2%以上増加
- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、1階級以上で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が1%以上増加
- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、全ての階級で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が変化なし又は、減少

\*ICT支援員の配置促進に関する調査研究（文部科学省/令和2年度3月実施）

# 令和元年度から令和2年度にかけて、一部の指導能力について、研修受講割合が高い都道府県の方が肯定的な回答（「できる」「ややできる」）の割合が増加

## 分析結果サマリと考察

### 小学校

- 「大項目C：児童生徒のICT活用を指導する能力」（特にC-3,C-4）や「大項目D：情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」（特にD-3,D-4）を中心に、令和元年度から令和2年度にかけて、否定的な回答（「あまりできない」「ほとんどできない」）から、肯定的な回答（「できる」「ややできる」）へ推移する傾向

R1→R2の変化（R1とR2の回答割合を比較している対象は同一の学校）

能力	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	D-4
小学校	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

### 中学校

- 「大項目C：児童生徒のICT活用を指導する能力」（特にC-1,C-2）を中心に、令和元年度から令和2年度にかけて、否定的な回答（「あまりできない」「ほとんどできない」）から、肯定的な回答（「できる」「ややできる」）へ推移する傾向

R1→R2の変化（R1とR2の回答割合を比較している対象は同一の学校）

能力	A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	D-4
中学校	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

- ICT研修の実施頻度が、地域間で異なることで、受講割合の差が生じている可能性があり、**ICT研修の実施頻度や内容について、各地域で需給のミスマッチが起きていないか新規調査を実施する**ことが考えられる。また、**ICT支援員の活用が少ない地域との類似性が強く、校内研修の実施者でもある「ICT支援員の不足→研修機会の不足」という因果関係も考えられる**

#### 【凡例】

- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、2階級以上で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が3%以上増加
- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、2階級以上で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が2%以上増加
- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、1階級以上で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が1%以上増加
- 支援員経費階級（階級0を除く6階級）のうち、全ての階級で、「できる」「ややできる」と回答した教員の割合が変化なし又は、減少